

訪問リハビリテーション フォーラム 2014

「医療・介護連携の中での訪問リハビリテーションの在り方

～退院・退所時の多職種連携について～

現在、国では高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。重要なことは、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステムの構築であると考えます。

今回は「医療・介護連携の中での訪問リハビリテーションの在り方退院・退所時の多職種連携について～」とし、入院・入所等の施設からの退院・退所後に切れ目のない、効果的な関わりをシンポジウム形式で検討していきたいと思えます。一般の方々から医療・保健・福祉関連職種の方々まで、無料でご参加いただけますので、多数のご来場をお待ち申し上げます。

日時 平成 26 年 11 月 14 日 (金)
14:45～16:15

場所 東京ビッグサイト・東ホール
展示会場内 特設セミナー会場



参加費 無料(定員 100 名)

お申し込み方法

日本理学療法士協会、日本作業療法士協会、日本言語聴覚士協会、訪問リハビリテーション振興財団のホームページをご覧いただき、事前登録を行ってください。募集開始9月初旬を予定しています。本フォーラムはHOSPEX japan2014 リハビリ・介護セミナーで実施されます。尚、お申し込みは以下のURLからお願いいたします。

<http://www3.jma.or.jp/hospex/rehabili.html>

訪問リハビリテーション フォーラム 2014 part2

プログラム

1. 開会式 (14:45~14:50)

中村 春基 氏(一般社団法人 日本作業療法士協会 会長)

2. シンポジウム (14:50~16:10)

司会 立石雅子氏(一般社団法人 日本言語聴覚士協会 副会長)

テーマ 「医療・介護連携の中での訪問リハビリテーションの在り方 ~退院・退所時の多職種連携について~」

- ・ 指定発言(病院) 医師 大仲功一氏(医療法人 博仁会 志村大宮病院)
- ・ 医療側(病院): MSW の立場から
林真紀氏 (やわたメディカルセンター地域連携部 医療福祉相談課)
- ・ 介護側(在宅): ケアマネジャーの立場から
鷺見よしみ 氏(一般社団法人 日本介護支援専門員協会 会長)
- ・ 介護側(在宅): リハビリテーションの立場から
石田英恵氏(宮古・山田訪問リハビリステーションゆずる 管理者)
- ・ まとめ

3. 閉会式 (16:10~16:15)

中澤 久夫氏(一般社団法人 日本言語聴覚士協会 常任理事)

*プログラムの詳細は(公社)日本理学療法士協会・(一社)日本作業療法士協会・(一社)日本言語聴覚士協会、(一財)訪問リハビリテーション振興財団ホームページでご確認ください。また、予告無く変更することがありますのでご了承ください。

お申し込み 定員100名

- ① 訪問リハビリテーション振興財団ホームページ②HOSPEX Japan 公式ホームページより事前登録を行ってください。募集開始9月下旬予定しています。

HOSPEX Japan 公式ホームページ URL: <http://www3.jma.or.jp/hospex/rehabili.html>

お問い合わせ先

一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団 事務局

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-8-5

下記アドレスまでお願い致します。追ってご連絡させていただきます。お手数ですが、どうぞよろしくお願い致します。

メールアドレス: info@hvrpf.jp